

保護者のみなさまへ

加古川市教育委員会

新型コロナウイルス感染症の拡大の状況により、臨時休業が延長となりました。
今後、変更の可能性もありますが、その際は、市HPに掲載するとともに、
各学校を通じて連絡いたします。



臨時休業中、各学校では、下記の通り取り組んでまいりますので、ご家庭でも
規則正しい生活を心がけていただくとともに、お子様の健康観察をよろしく
お願いいたします。



臨時休業中の対応

(1) 学習サポート

学習に著しい遅れが生じることのないよう、ポスティングなどにより、学習サポートを行います。

- ◇ プリント学習
- ◇ 教科書を活用した家庭学習
- ◇ NHK Eテレなどの活用
- ◇ 学習コンテンツの活用（家庭のPCやスマホで利用できます）



(2) 心のケア

お子様の心の状態に不安がある場合は、学校園や下記窓口にてできるだけ早く相談してください。



相談窓口



- ◆ 加古川市教育相談センター
(不登校・心のケアに関すること) 079-421-5484 ※平日9:00~17:00
※不安や悩み相談に臨床心理士等が対応します。
- ◆ 加古川市少年愛護センター 079-423-3848 ※平日9:00~17:00
(生徒指導に関すること)
- ◆ こころの健康相談統一ダイヤル 0570-064-556 ※平日は要時間確認、土日祝24時間
- ◆ 兵庫県のちと心のサポートダイヤル 078-382-3566 ※平日18:00~8:00
- ◆ ひょうごっ子悩み相談センター 0120-783-111 ※9:00~21:00

「学校園における新型コロナウイルス感染症対策マニュアル（第1版）」の概要

基本大原則

- 1 安全を最優先に考え、発熱・咳など、かぜ症状のある子どもをはじめ、疑わしき事案については、原則として、出席停止とすることにより、子ども同士及び教職員との間での接触を避ける。
- 2 クラスターの発生リスクを下げるための3原則を遵守し、換気の悪い「密閉」空間、多くの人が「密集」、「密接」での会話や発声が同時に重なる場を徹底的に排除した環境づくりに努める。
- 3 感染者・濃厚接触者等に対するいじめや差別的な言動がないように、子ども及び教職員の人権に留意するとともに、個人情報の取扱いにも留意する。

1 新型コロナウイルス感染症発生時の対応

- ◇ 市内学校に感染者が出た場合、保健所と連携し、適切に対応しますので、ご安心ください。
- ◇ 必要があれば、必ず連絡しますので、噂をもとにした行動はお控えください。
- ◇ 児童生徒またはその同居家族について、感染が判明または濃厚接触者と認定された場合等は、当該児童生徒を出席停止とします。

2 偏見や差別への対応、個人情報の保護

- ◇ 感染者、濃厚接触者等に対する偏見や差別につながるような言動は、人権にかかわる問題であり、断じて許されないという毅然とした態度で対応します。
- ◇ 個人情報は管理を徹底するとともに、罹患した場合であっても、いたずらに感染者が特定されることのないよう、十分配慮します。

3 学校再開時の対応

「コロナウイルス感染症の防止」の徹底を図るとともに、年間行事を大幅に見直し、学習に重点的に取り組みます。

- ◇ 毎朝、体温を測り、発熱・咳など、かぜ症状がある場合は、登校を控えてください。
- ◇ 石けんでの手洗いの徹底、咳エチケットなどの基本的な感染症対策に関する指導を行います。
- ◇ 3つの密を避ける環境づくりを行います。
- ◇ 消毒液を使った清掃を毎日実施します。
- ◇ 免疫力を高めるため、十分な睡眠や適度な運動、バランスの取れた食事をお願いします。



保護者のみなさまへのお願い

① 子どもが、よい体調を維持できるように努めましょう。

規則正しい生活を心がけ、睡眠を十分にとり、食事も三食バランスよく食べ、可能であれば、密とならない状況を確認し、外での運動をさせるなどをこころがけましょう。(散歩や縄跳び等)



② ウイルスやその感染防止について正しい知識を、子どもにわかりやすく伝えましょう。

何が起きているか事実を伝え、今どうなっているか説明し、感染リスクを減らすためにどうすればいいか、お子様の状況に応じて、わかるように教えましょう。



③ 不安をあおりがちなメディアの情報に、子どもが接する機会を減らしましょう。

④ 家族や親せきなどの親しい人と話す時間を持ち、孤立しないようにしましょう。

コンピューターゲームや動画の視聴の時間を増やさず、家族と話をする、カードゲーム、ボードゲーム、折り紙や工作などをして過ごす時間を作りましょう。できるだけ、親や家族がそばにいるようにしましょう。入院などで離れる場合には電話などで定期的に連絡できるような方法を確認してください。



⑤ 子どもたちのストレスに伴う心理的な反応に気をつけましょう。



このような状況では子どもたちに、以下のようなストレスに伴う心理的な反応が出る場合があります。

甘えたくなる・心配になる・元気が出ない・悲しくなる・おねしょをしてしまう・いらいらする
怒りっぽくなる・喧嘩が増える

子どもは大人の愛情と目を向けられることを必要とします。今まで以上に時間をかけ、接してください。子どもの訴えを聞いて、やさしく話しかけ、安心させてください。

可能なら、安全な環境で遊びやリラックスできる機会を作ってください。多くの場合、このような心理的な反応は、時間とともに改善しますが、睡眠や食欲の問題が長期間続く、行動上の問題が顕著であるなどのような場合には、学校や教育相談センターなどに相談するようにしてください。



⑥ 特別な配慮を要する子どもは、専門機関にこまめに相談するようにしましょう。

お子様の状況に応じて、説明は時間をかけてわかりやすく行い、できれば、表やイラストなどの視覚的な説明方法も取り入れましょう。また、できるだけ安心できるように、先の見通しがもてるようにしてあげましょう。また、感覚過敏をもつ方も多いので、自分のペースで静かに過ごせる場所や時間を作りましょう。

学校の休みが長くなって、お友達と遊ぶことや家から出ることができないと気持ちがしんどくなる、イライラすることがあります。そうならないために、以下のことに気をつけましょう。

① 規則正しい生活をしましょう。

十分な睡眠をとり、食事は、毎日決まった時間に三食バランスよく食べましょう。



② 適度の運動やリラックスできる時間を取りましょう。

人がたくさんいない公園で走ることや、縄跳び等をして大丈夫です。

運動後は、必ず手洗い・うがいをしましょう。



③ 感染が広がらないようにしましょう。

風邪症状（咳、鼻水、発熱）のある人は出かけず、家で過ごしましょう。元気な人もウイルスがうつらないように、できるだけ外出しないようにしましょう。



④ 家族と話す時間を持ちましょう。

コンピューターゲームやパソコン、動画を見る時間を増やさないようにしましょう。

新型コロナウイルスに関するテレビやネットをみて、気持ちがしんどくなるなら、あまり見ないようにしましょう。一人であるよりも、家族でカードゲームやお話をして過ごしましょう。

⑤ 気持ちがしんどくなったら、家族や先生などに相談しましょう。

気持ちがしんどくなると、次のような症状は出ることもあるかもしれませんが、不思議なことではありませんし、状況が落ち着けばほとんどおさまりますので、安心しましょう。

甘えなくなる・心配になる・元気が出ない・悲しくなる・おねしょをしてしまう・イライラする・怒りっぽくなる・兄弟喧嘩が増える

長く続く時や心配な時、困った時は、家族や先生など、信頼できる大人に相談しましょう。



⑥ いじめをしてはいけません。

新型コロナウイルスに感染した人やその家族、治療をがんばっている病院や保健所の人を傷つけるようなことを言うてはいけません。「ウイルスにかかっている」「ウイルスがうつる」などと言ってからかういじめは、あってはならないことです。もし、そのような場面を見かけたら家族や学校の先生など、信頼できる大人に相談してください。